モリメイトの里山づくり

モリメイト通信

発行 2018 年　8 月 31 日
通算 187 号
三重県上野森林公園モリメイト

本気で遊ぼう！モリメイト

8 月 2 日（木曜日）　倒木処理とクヌギ植林予定地の草刈り

【参加者：池本、梶川、芝田香、中　　計 4 名　】

今日も朝から暑い。作業予定のモリメイトフィールドに近づくと先日の台風 12 号で折れた木の枝が進路を塞いでいた。周囲を見回すとあちらこちらに太い枝が折れていた。相当風が強かったようだ。

二人は「クヌギの森づくり」予定地の草刈り。他の二人は台風被害の確認に境界線を歩いた。

まず目についたのが、モリメイトフィールド奥の池端の 8 メートルほどのイヌツゲが根こそぎ倒れ通行不可能。倒木を処理しつつ進み「第 1 回クヌギの森」の植林地に到着すると大きな栗の木が根元から倒れていた。チェーンソーがなかったので、そのまま放置。

その後、全員で草刈り。余りにも暑く、全身が汗でベトベト。気温は 30 度だったが、湿度が高い分、暑く感じたようだ。

8 月 9 日（木曜日）倒木処理とモリメイトフィールド周辺の草刈り

【参加者：池本、梶川、芝田香、鈴木哲、中、鈴木明　　6 名】

台風 12 号で倒れ、そのままになっていた木の枝、幹を切り、通行の邪魔にならないように片付けた。また、木に掛かり、落ちそうになっている枝などを取り除く作業を行った。

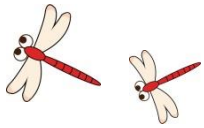
その後、全員で夏の恒例作業である草刈り。無理をせず、毎回コツコツと草刈りをしていることもあり、モリメイトフィールド周辺は見通しのきく、風の通る気持ちのいい場所となっている。

作業が終わってビジターコテージへの帰り道、サギ草園に寄ってサギ草を見る。純白のまさにサギが飛んでいるといったその姿が今年はまばらで、例年に比べると少なくなっていた。暑さと水不足が影響しているのかもしれない。

8 月 23 日（木曜日）鈴虫の音色に秋を感じたいね

【参加者：池本、梶川、芝田香　　計 3 名】

台風のため雨風が強くなり、芝田さんが持ってきてくれた鈴虫を分けて解散となる。



8 月 30 日（木曜日）植林したクヌギに肥料・「クヌギの森作り」予定地周辺の草刈り

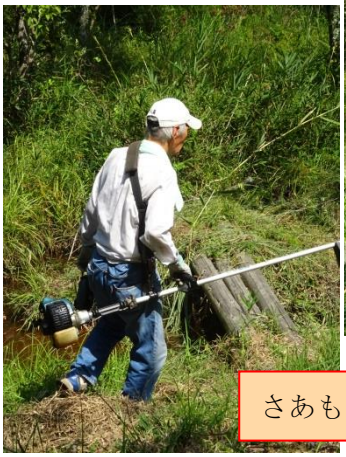
【参加者：梶川、芝田香、鈴木哲、中、鈴木明　　計 5 名】

「第 1 回クヌギの森作り」で植林したクヌギの苗木は、3 メートル近くになっているものもあり、順調に成長している。

根元に 2 ヶ所、スコップで穴を掘り、直径 3 センチぐらいの肥料を 2 個ずつ埋めていった。

その後は、全員で草刈り。主に今年の「クヌギの森作り」予定地周辺の草刈りを行った。

暑くて、湿度の高い中での草刈りであった。木陰で休み、お茶を飲みながら今日のニュースや健康法など、しばらく話をして、また草刈りを始めた。無理をせず楽しみながら・・・。



さあもうひとふんばりするか！

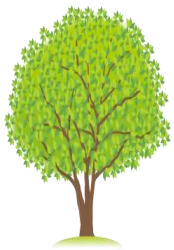
8 月 31 日（金曜日）「森の音楽会」代表者会議

舞台はどの辺に来るのでしょうか？

【参加者：芝田香、鈴木哲、鈴木明　　計 3 名】

「第 14 回　森の音楽会」を 10 月 14 日（日）に開催するに当たり、出演者と音響の代表者の方に森林公園に来てもらい事前の打ち合わせを行った。

今年は、日本民謡和泉会「和と伝」、池澤 DUO、混声合唱団コーロ・Gui の 3 グループが出演。

出演順の決定、出演者と音響・司会者との打ち合わせ、搬入物の確認、駐車場や更衣室の確認などをした後、野外の特設会場をどのように作るか説明し、その場所を見てもらった。

去年は雨で中止となったが、今年は雨のときの会場（ビジターコテージ研修室）も確保できたので実施することができる。しかし、何と言っても「森の音楽会」である。野外の木に囲まれた中で行いたい。晴れてくれることを祈ろう！